

Smips産学連携分科会 2010年度活動報告と2011年度活動計画

産学連携分科会オーガナイザー
長壁健
鈴木睦昭
杉浦美紀彦
林聖子
矢上清乃

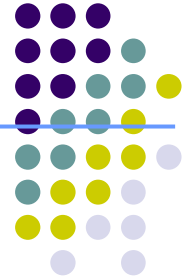
2010年度の活動報告

※=全体セッションの時間帯で開催
◎=知財キャリア分科会との合同開催



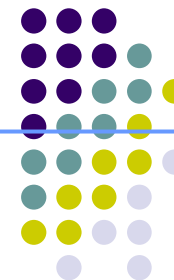
月	開催内容	ゲスト (招聘する場合)	カテゴリー	担当 Organizer
4月	※研究成果の実用化～企業の視点から、大学の視点から～	飯島俊宏氏(大阪大学産学連携推進本部 総合企画部 産学連携教授(環境・エネルギー担当))	学産 ●産学連携全般	林
5月	◎産学官連携でのイノベーション創出による地域振興を応援しています!	林聖子氏(財団法人日本立地センター立地総合研究所主任研究員)	官 ●産学連携全般 ●知財キャリア	林
6月	(KNS産業クラスター研究会との共同企画) 産学連携関係者による“重役会議” 「産学連携による地域振興は可能か？」	兼松泰男氏(大阪大学先端科学イノベーションセンターVBL部門) 佐藤利雄氏(岩手大学地域連携推進センター)	学 ●産学連携全般	杉浦
7月	読書会～二十歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義～	長壁健氏(社団法人農林水産技術情報協会)		
10月	日米の大学・TLOライセンス収入のデータ比較とその差異の説明について	福田剛氏(大学技術協議会UNITT 事務局長)	学 ●海外事例	鈴木
12月	※産学連携大学の立場から見た産学官連携ー産学官連携をコーディネートするとはどういう事かー ☆通常の時間帯 群馬大学の産学官連携活動と知的財産活動	伊藤正実氏(群馬大学共同研究イノベーションセンター教授、NPO法人産学連携学会会長)	学 ●産学連携全般	林
1月	①科学技術コモンズ ②サイエンスコモンズ	①笹月俊郎氏(独立行政法人 科学技術振興機構イノベーション推進本部 知的財産戦略センター戦略企画グループ 調査役) ②畑田康司氏(サイエンスコモンズ翻訳プロジェクト)	学産 ●コモンズ	鈴木
2月	コーディネーターの情熱	①鈴木康之氏(科学技術振興機構 JST イノベーションサテライト静岡 科学技術コーディネータ)	産学 ●コーディネーター	鈴木

4月(全体セッション:産学連携分科会が企画)



- **講師:飯島俊宏先生**
大阪大学産学連携推進本部 産学連携教授(2009年4月より)、
2009年3月までダイキンの研究者
- **演題:研究成果の実用化～企業の視点から、大学の視点から～**
- **講演内容:**
 1. 飯島俊宏とは?
 2. 研究成果の実用化とは?
 3. コンフリクト(組織間の衝突)は悪いもの?
 4. 大学において実用化を促すには?
 5. 製品化の成熟と隠れたコンフリクト

5月(知材キャリア分科会との合同開催)



- **講師:**林 聖子(日本立地センター立地総合研究所主任研究員)
産学連携分科会オーガナイザー
- **演題:**産学官連携でのイノベーション創出による地域振興を応援しています！
- **講演内容:**
 1. これまでの主な研究
 2. 産学連携の意義
 3. イノベーション創出の重要性
 4. 産学連携コーディネータカ、研修
 5. 最近の研究、課題、一考

6月 産学官連携会議の前夜祭(有志)

(KNS産業クラスター研究会との共同企画)

産学連携関係者による“**重役会議**”

～産学連携による地域振興は可能か？～



● 話題提供者:

兼松泰男氏 (大阪大学先端科学イノベーションセンターVBL部門 教授)

佐藤利雄氏 (岩手大学地域連携推進センター)

- テーマ「産学連携は本当に地域振興に役立つの？」

● フリーディスカッション

- モデレーター: 西村由希子
- 参加者 : 35名



● 来年度は・・・(当時)

「産学官連携推進会議」自体、来年度の開催は未定

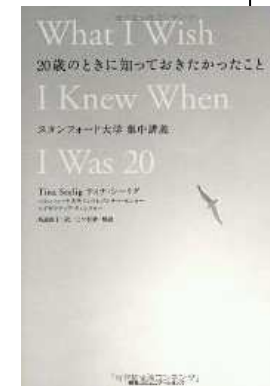
⇒全国各地の産学官民メンバーが同じテーブルについて議論の場は、来年も何らかの形で継続しようと主催メンバーで確認

7月

読書会

『二十歳のときに知っておきたかったこと』 ～スタンフォード大学集中講義～

- 朝日新聞の書評で紹介
- 社会起業家
- 未来予想本
- シナリオプランニング
- 事例が世界を変えるデザイン展に出展⇒
- BOPビジネス⇒



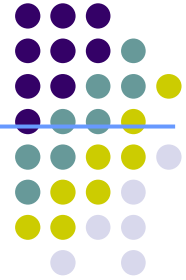
10月

日米の大学・TLOライセンス収入の
データ比較とその差異の説明につ
いて
福田剛 氏(大学技術協議会UNITT
事務局長)



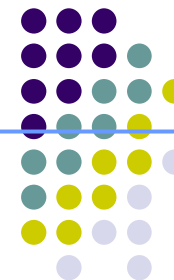
日本のライセンス収入は米国の300分の1！高額ライセンスはバイオ
成長産業に技術移転しなければ、やはり海外に
参加者との討論：期待される仕事が日米で違う、日本 権利行使しない

12月(全体セッション:産学連携分科会が企画)

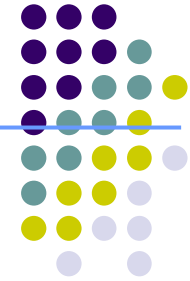


- **講師:伊藤正実先生**
群馬大学共同研究イノベーションセンター教授
(兼)知的財産戦略室長
NPO法人産学連携学会 会長
- **演題:大学の立場から見た産学連携
ー産学官連携をコーディネートするとはどういうことか?ー**
- **講演内容:**
産学官連携とは
産学連携コーディネータは職能によって分類される
 1. 企業の研究開発と大学の研究
 - (1)企業の研究開発とは?
 - (2)大学でおこなわれている研究とは?
 2. コーディネータの立ち位置と役割
 3. 技術相談のとき何を見ているか?

12月(産学連携分科会通常時間帯)



- **講師:伊藤正実先生**
群馬大学共同研究イノベーションセンター教授
(兼)知的財産戦略室長
NPO法人産学連携学会 会長
- **演題:群馬大学の産学官連携活動と知的財産活動**
- **講演内容:**
産学官連携をひとつのシステム(系)として考える
群馬大学の場合はどうか?
 1. 群馬大学の産学連携活動
 - 2 首都圏北部4大学連合の活動



科学技術コモンズ と サイエンスコモンズ

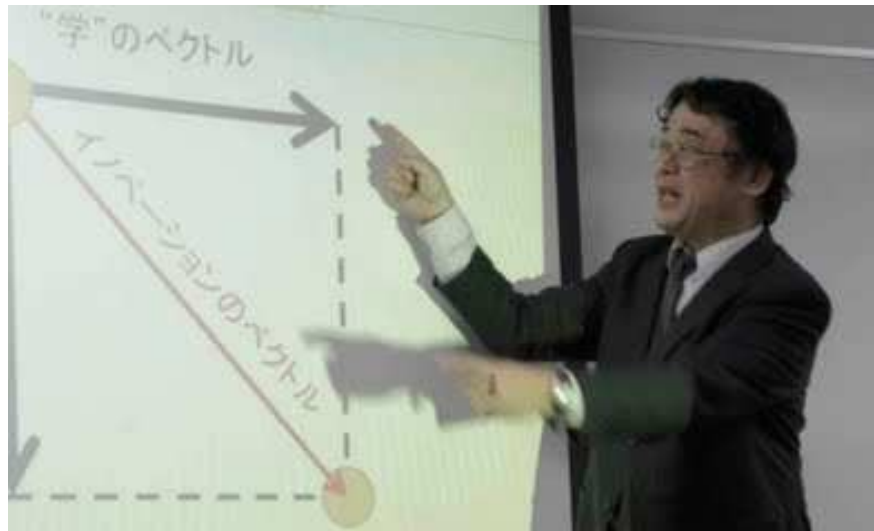
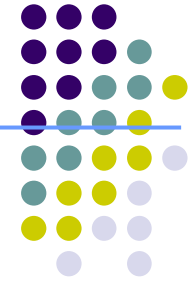


- ① **笹月俊郎** 氏 (独立行政法人 科学技術振興機構 イノベーション推進本部 知的財産戦略センター 戦略企画グループ 調査役)



- ② **畑田康司** 氏 (サイエンスコモンズ翻訳プロジェクト)

1月 コーディネーターの情熱



鈴木康之 氏 (科学技術振興機構
JST イノベーションサテライト静岡 科
学技術コーディネータ)

イノベーターコーディネーター大賞・
文部科学大臣賞受賞

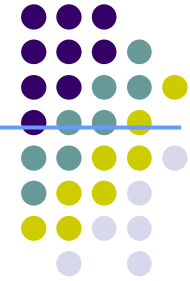
産学連携の鈴木カップリングを目指す

傾いた水道屋の跡取り社長が産学連携の世界に

大学のコーディネーターが能力発揮で奴隷でなくなった。

目指すは総合調査役

2011年度のスケジュール案他



- **開催方針案**

- ・産学連携関連、知財関連、イノベーション創出に関わる社会環境、ビジネス環境、政策等の変化を踏まえながら、その中で今、着目すべきトピック等を考える
- ・大震災により様々な前提条件が大きく崩れた中で、被災地の喫緊の復興を念頭に考える

- **講演テーマ案**

産学連携関連、知財関連、イノベーションに関わる様々なタイプの講師を招聘予定

- **分科会開催時間**

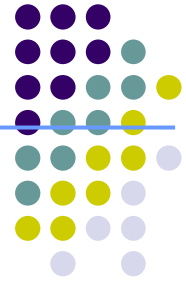
17:00～18:30

- **ゲスト講師**

5月 大西 晋嗣 氏 関西TLO株式会社

講演テーマ：「TLOの業務について～もうかりまっか、技術移転～（仮題）」

本日17時から産学連携分科会のご案内(既にMLでお知らせ)



- **開催日程:2011年4月16日(土)17:00~18:30**
- **講師:首都大学東京産学公連携センター事務長 桜井政考様**
- **演題:『産学官連携・ベンチャービジネス特有の人材活用の課題』**

桜井様は、三井信託銀行時代には、事業会社融資、資産査定システム構築、信用リスク管理、情報開発業務等に従事され、ソフトバンクインベストメント時代には、ベンチャー投資、M&A業務等に従事され、特許コンサルティングを手掛ける社内ベンチャーを起業し、ベンチャー企業の経営も経験され、東京中小企業投資育成時代には、アーリーステージのハンズオン支援投資に注力され、多くの社外取締役を兼務され、ベンチャー企業の経営面を支援してこられました。長年の経験やコラボレーション実績を現在の産学公連携のお仕事に活用されながら、大学と産業界の橋渡しに全力をあげておられます。

たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。